

## 志賀原子力発電所1号機 原子炉冷却材再循環系 配管溶接部におけるひびの確認について

平成25年10月31日  
北陸電力株式会社

定期検査中の志賀原子力発電所1号機において、原子炉冷却材再循環系の配管溶接部にひびを確認しましたので、お知らせします。

志賀原子力発電所1号機は、現在実施している第13回定期検査の停止期間を利用し、原子炉冷却材再循環系配管の高周波誘導加熱による配管応力改善工事<sup>1</sup>を追加で実施することとしました。  
(8月23日お知らせ済み)

工事実施にあたり、施工前の状態確認のため超音波探傷検査<sup>2</sup>を実施していたところ、昨日(10月30日)、原子炉冷却材再循環系の2箇所の配管溶接部にひび(最大長さ約178mm)を確認しました。

今後、ひびの深さ測定等を実施するとともに、引き続き、残りの箇所の検査を実施します。

検査は高周波誘導加熱後の検査を含め12月中旬までかかる見込みであり、その結果については、終了した時点でお知らせします。

ひびが確認された配管溶接部については、配管の取替えも含め、今後、対策を検討します。

本事象は、石川県、志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に従い、当該自治体へ連絡しています。

以上

添付資料：原子炉冷却材再循環系配管溶接部のひびの状況

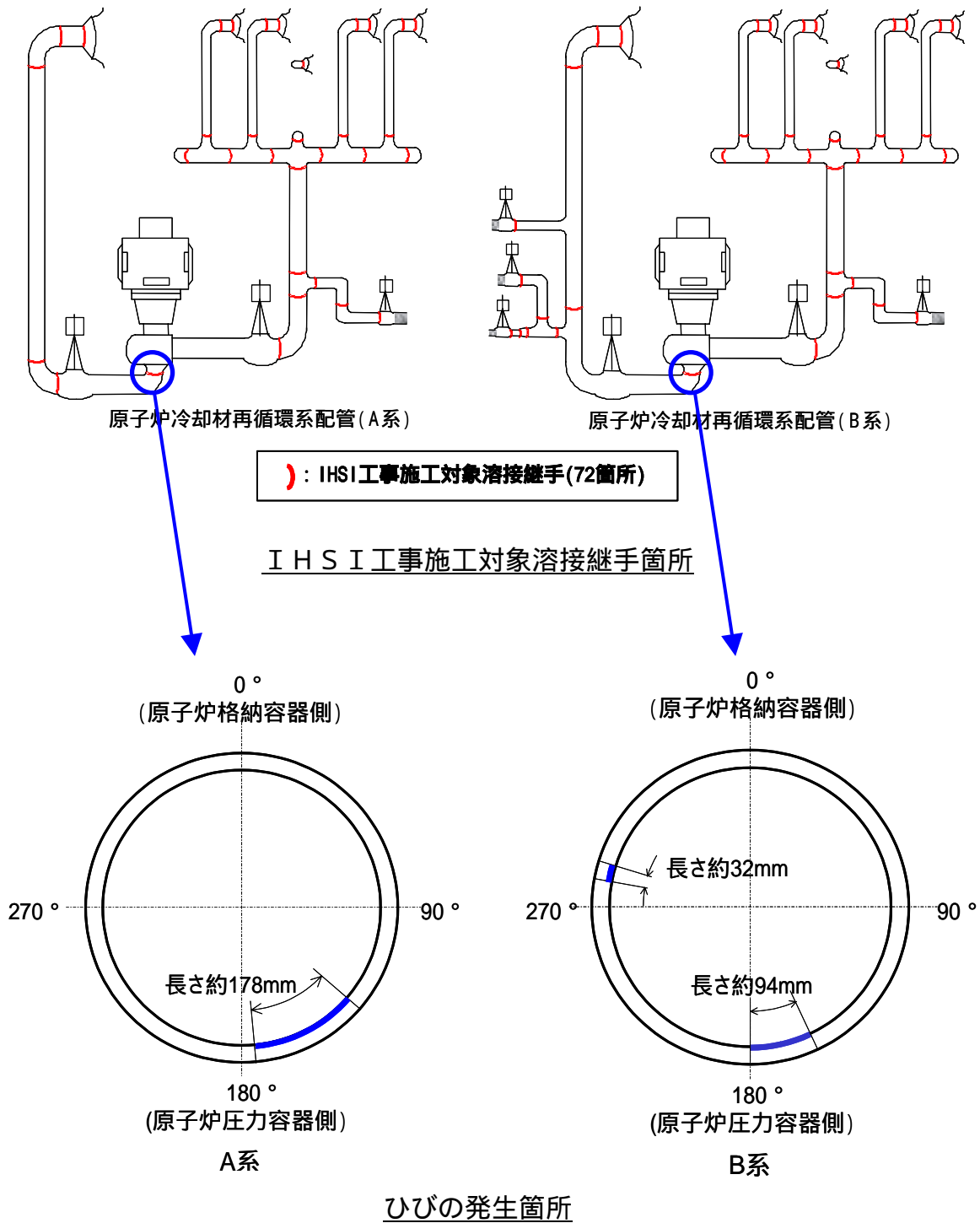
### 1 高周波誘導加熱による配管応力改善(IHSI)工事

原子炉冷却材再循環系配管溶接継手のひび発生の原因である残留応力の改善を図るため、予防保全として、高周波誘導加熱により配管応力改善を図るもの。

### 2 超音波探傷検査(UT)

非破壊検査の一種で、検査対象物に超音波を入射したときの超音波の反射波形により、対象物の内部を調査する検査。

### 原子炉冷却材再循環系配管溶接部のひびの状況



以上